
君の幸せ

W I S H

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君の幸せ

【Nコード】

N3254P

【作者名】

WISH

【あらすじ】

新一がコナンだった頃にある男子生徒がある女子生徒に恋をした。その女子生徒の名前は毛利蘭。カップリングは新蘭です
ご安心を

新一と蘭の会話は少ないです。

(前書き)

あらすじ紹介にも書かれてありましたが新一と蘭の会話は本当に少ないですよ！

俺、佐藤修平。帝丹高校二年A組の生徒だ。俺は最近ある女の子に恋をした

その女の子の名前は毛利蘭。

彼女はスタイル良し、顔良し、そしてすべて良い今彼女が登校してきたみたいだ！俺は二階の教室の窓から毛利を見ている。

俺は今毛利蘭に夢中になつていた。

「おい！修平何見てるんだ？」

こいつは林健太俺の大親友だ！

「お！毛利じゃん！」

「マジで？毛利？」

林の言葉によりA組にいたみんなは毛利を見ていた。

視線はみんな毛利に釘付けた。

このままじゃ取られちゃうよな！よし明日告白しよう！

修平はそう思った。

ー翌日ー

修平は学校に来たらすぐに窓を見ていた。

いつまで経つても毛利が現れないから修平はこう思った。

「嘘だろ？まさか欠席か？今日せっかく告白しようと思っていたのに！」

「ん？おい！修平見ろよ！」

「ん？何？あれ工藤じゃねえか？」

「え？まさかB組の工藤か？」

A組にいたみんなは騒ぎ出した。

「おい！見ろよ！毛利と工藤が手繋いでいるぞ！」

ガラー

教室のドアが開いた。

「おーいみんな席につけ！」

担任の先生が入ってきた。

「先生！もしかして工藤今日から復帰ですか？」

「ああ！そうみたいだな！」

「はあ？今日から復帰？何でこんなタイミング悪く！俺運悪！」

修平は頭を抱えてそう思った。

そしてホームルームが終わったあと廊下で騒ぎがあった。

「おい！聞いたか？B組の工藤と毛利が付き合い出したみたいだぞ！」

「マジかよ？あの二人ついにくつついたか？」

「えー！？」

俺は落ち込んでしまった。

そして放課後部活の帰りに偶然工藤と毛利の姿を見かけた。二人に気づかれないように後をついた。

そして俺が見たものはなんと校庭のど真ん中でキスをしていた。

俺は工藤と毛利のキスシーンを見てしまい、さらに落ち込んでしまった。

なんか今さら気づいたんだけど今日の毛利いつもより可愛く感じた。多分工藤と一緒にいれるからだろう！うわ！工藤のあんな優しい笑顔見たことねえぞ！多分毛利専用の笑顔だろう！毛利のあんな優しい笑顔も見たことねえぞ！多分毛利も工藤専用の笑顔なんだな！新一は修平に羨ましそうに見られていたのには気づかなかったが、一瞬寒気がした。

「ウー！」

「ちよつと！新一！大丈夫？」

「ああ！ちよつと寒気がしたただけだから！」「本当に？熱はないみたいね！」

蘭はそう言い、俺のおでこに頭を乗つけた。

その様子を見ていた修平はさらに落ち込んでしまった。

「まあ！失恋はしちまったが毛利が幸せならいいや！工藤絶対に毛利を幸せにしろよ！」
俺はそう思って、二人の後をつけるのをやめ、幸せそうな二人を見送った。

(後書き)

どうでしたか？

こんな駄文しか書けなくてすみません！

感想楽しみにしてます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3254p/>

君の幸せ

2010年12月30日01時15分発行